

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	CyberKnife®を用いた前立腺定位照射の有害事象の経過と必要な看護介入を考える
研究責任者	聖隷浜松病院 外来看護課 杉村恭子
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~2024年2月
対象者	2021年5月から2022年8月までの間に聖隷浜松病院の放射線治療室にて、前立腺がん用サイバーナイフを用いた定位放射線治療を完遂した患者さん(47名)。
研究の意義・目的	CyberKnife®を用いた前立腺の定位照射は、治療回数5回で終了します。急性期有害事象の出現時期や程度を分析することで治療期間が終了した後の経過を明らかにします。患者が治療後も困難感なく療養できるように、必要とされる看護介入を検討します。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 治療開始から40日間の排尿困難感、排尿時痛、頻尿、肛門痛、肛門出血の有無と程度の情報を確認します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 外来看護課 (氏名)杉村恭子 TEL:053-474-2222(代表) 腫瘍放射線科外来 9:00~17:00 平日